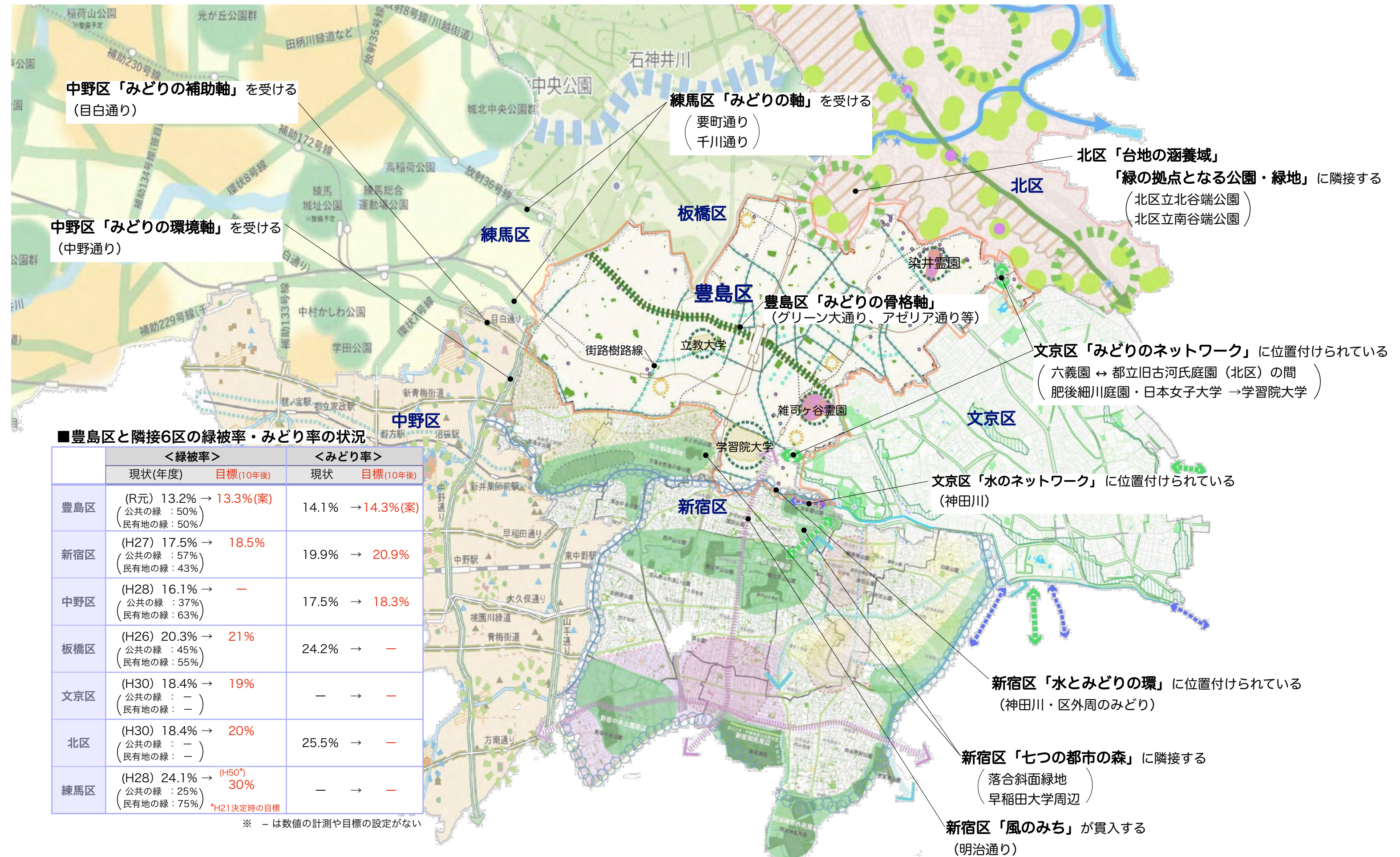


隣接区の緑の基本計画の整理

■みどりの将来像重ね図

隣接区の緑の基本計画における緑と水のネットワークを把握し、広域的に緑を支えるための連携の取組を計画に反映します。たとえば、隣接区と連続するみどりのネットワークや新宿区の「風のみち」と連携するなどが考えられます。



■隣接区の緑の基本計画の概要

豊島区をとりまく区の最新計画を以下に整理した。

*GI:グリーンインフラ

区	計画名称	発行年度	特徴	計画テーマ	計画目標	国・都、社会的動向	生物多様性	都市公園の管理の方針	地域別方針	備 考
豊島区	豊島区みどりの基本計画（平成28年3月見直し）	2016. 3	・地域別方針の 地域が多い (都市づくりビジョンの地域と連動) ・見直しにより防災、エコロジカルネットワーク、公園の活用・運営の 施策を追加	みどりの将来像： みどりのネットワークを形成する環境のまち	・緑被率（13％）、緑視率（25％以上の地点増）、（公園面積25.4ha）、 緑化基準満たす公共施設数（80％）、幹線道路の街路樹設置割合（80％）	・法改正前 ・少子高齢化、地球温暖化、防災、生物多様性、区民協働等を社会情勢にあげている	・エコロジカルネットワークは環境基本計画と連動 ・学校ビオトープが特徴	・「豊島区公園施設長寿命化計画（H26.3）」「豊島区公共施設等総合管理方針（H27.3）に基づき維持管理	・地域別方針を記載（12地域）	・資料編は旧計画の進捗状況と課題、用語解説で構成 ・119 頁
板橋区	いたばしグリーンプラン 2025	2018. 3	・改定の視点を、GI としての みどり、多様な主体との協働 、「東京で一番すみたくなるまち」へ寄与することとして特徴付けている ・計画の前段の解説が丁寧（背景、課題、考え方のフロー等） ・施策毎に事業を具体的に記載 ・みどりのコラムや写真が豊富	「“みどり”でつなぐ《ひと・まち・みらい》」（区基本構想のテーマとの連動「未来をはぐくむ緑と文化のかがやくまち“板橋”」 ・この他に施策展開のテーマが設定され、計画の基本方針になっている	・緑被率（21％）、公園率（6.1％） ・身近な緑の満足度（40％）、 みどりのイベント・協働活動参加者数（延べ50万人/8年）	・計画改定の背景に国・都の動向を記載 ・GI は改定の視点になっている。低炭素化はCO2 吸収効果を記載、SDGs は記載がない	・生物多様性は施策に記載 ・エコロジカルネットワーク形成方針図を記載	・「板橋区パークマネジメントガイドライン」と連動。パークマネジメントは重点プロジェクトに位置付け ・Park-PFI 制度について記載	・地域別方針は記載がない	・資料編は緑の現況、推進会議の意見、区民意識、策定経緯、用語解説で構成 ・128 頁
北区	北区緑の基本計画 2020	2020. 3	・改定の経緯・視点、緑の現状、課題等を丁寧に解説 ・緑の機能（地球環境保全、生物多様性保全、レクリ、景観形成、防災、コミュニケーション）ごとに基本方針を構成し、方針図で整理 ・ 重点方針：レクリエーション、コミュニケーション	「ひといきいき みどり いきいき 育てる つながる北区」	・緑被率（30％）、公園面積（5m2/人）に加えて、新たに緑地率（30％）、緑・自然環境の満足度（50％）を追加	・国・都の動向は改定の経緯等に記載 ・SDGs、GI、低炭素化、 インクルーシブ、サードプレイス、森林環境譲与税 等を記載	・ 基本方針・施策の一部を「生物多様性地域戦略」に位置付ける ・エコロジカルネットワーク図を記載	・重点施策としての位置付け ・Park-PFI 制度等の民活導入を記載 ・「北区公園総合整備構想及び公園魅力向上推進プラン(案)」と連動	・ゾーン（河川、低地、台地）で区分し、更に7地域の方針記載	・資料編は緑の概要、用語解説で構成 ・126 頁
新宿区	新宿区みどりの基本計画（改定）	2018. 3	・計画目標が多い ・施策毎に重要度を区分した施策例を記載 ・ 施策が定量的目標・定性的チェックポイントの何に関わるかをアイコン的に可視化 ・みどりの配置方針図では、「 風のみち 」を重要な骨格にしている	理念：潤いと風格のある みどりで賑わう持続可能な都市「新宿」をめざします	・緑被率（25％、当面 1％up/10年）、みどり率（27％、当面 1％up/10年）、公園面積（8％/区面積、5m2/人、当面 3.4m2/人・10年）、緑視率（25％、当面 20％） ・ みどりに対する実感 （区全体・自宅周辺の緑・花があると感じる区民の割合 70％、自宅周辺の生き物がいると感じる 50％）	・改定の背景に SDGs をあげている ・GI は記載なし	・みどりの配置方針にエコロジカルネットワーク・広域的ネットワークを記載 ・生物多様性はリーディングプロジェクトとして位置付け	・効率的な管理のための維持管理計画策定をリーディングプロジェクトに位置付け ・みどりの配置方針と個別施策に記載（公民連携の管理運営）	・地域別方針を記載（6地域）	・資料編は自然・社会条件、社会的動向、事業実績、緑の概況、用語解説等で構成、他区に比べ量が多い ・100 頁
中野区	中野区みどりの基本計画	2019. 1	・ 現状分析を重視 みどりの4つの機能（環境保全、防災、景観、レクリ・自然とのふれあい）ごとに現況図で分析	「 いきいきと人とみどりが育つまち 」	・みどり率（18.32％）、緑地と公園の確保量 ・みどりの満足度（みどりの豊かさ、公園・広場の満足度共 65％）	・国の法改正・動向は改定の目的に記載。国・都と計画実現の連携を明記 ・SDGs、GI は記載なし	・生物多様性は施策に記載 ・エコロジカルネットワークの記載なし	・重点施策としての位置付け（公園の管理・運営における民間参画の推進）	・地域別方針を記載（7地域）	・資料編は緑の概況、みどり率の解説、改定の経緯で構成 ・77 頁
練馬区	練馬区みどりの総合計画 平成31年度～平成40年度	2019. 4	・シンプルな構成 ・ 具体的な施策重視	「 区民とともに練馬のみどりを未来へつなぐ 」	・ みどりの満足度（80％以上）を第1に置いている ・その他、定量的目標は緑視率（25％）のみ。他はみどりを増やす・活動区民を増やす	・国・都の計画・動向は巻末の参考資料に記載 ・SDGs、GI は記載なし	・生物多様性は施策に記載 ・エコロジカルネットワークの記載なし	・施策に記載（良好な状態に保つ、民間の発想を活かした管理運営、区民管理の拡充）	・地域別方針はないが、 土地利用別将来イメージ （住宅地、農地、駅周辺）を記載	・区と緑の概況は参考資料に記載 ・66 頁
文京区	文京区みどりの基本計画	2020. 3	・国・都の方針、区の上位関連計画の方針、社会的動向等から改定的前提を丁寧に整理 ・現状と課題を多面的に分析し、多くのページを割いて解説 ・重点施策に樹木のモニタリング・暑熱環境緩和・データベース化等の独自性がある ・イラスト・写真・表・フロー図等を多用	基本理念：人々が 手を携え、自然の母体であるみどりを愛し、守り、育みます 。そして豊かな歴史・文化とともに未来の子どもたちに伝えます。	・「10年後の将来像」及び重点施策の「10年後の目標」が計画目標（再整備公園箇所数の割合、民活公園数、公園ガーデナー制度活用 の小学校数等 ） ・緑被地面積の目標を取組の展開で項目立てして記載（緑被率19％）	・国・都の方針は改定の背景に前提として記載 ・SDGs、GI は改定の背景で解説 ・ みどりのデータベース、モニタリングシステム等の情報技術導入	・生物多様性は取組方針として記載 ・重点施策として位置付け（公園における生物多様性に配慮した管理・整備）	・都市公園の整備・管理の方針を取組の展開で項目立てして記載、重点施策（民活の公園利活用の検討、公園ガーデナー制度）にも記載	・地域別方針は記載がない	・概要版がない ・資料編は改定の経緯、用語解説で構成 ・76 頁